

## 2018年度 組織拡大推進特別委員会 開催報告

12月7日(木)、ホテルポールスター札幌にて、「2018年度組織拡大推進特別委員会」を開催し、産別33名が参加した。

開会に先立ち、杉山事務局長が「2017年度の連合北海道の拡大数は、12産別19組合において約1,700人拡大した。しかしながら、組織率でいうと前年比-0.4ポイントの16.1%となり、全国的にみても約1%低い結果となった。道内の労働者の36%は非正規雇用といった状況下にあるなかで、非正規労働者の処遇の改善や労働環境改善をはじめ、様々な労働条件の課題が山積している。本委員会のなかで多くの意見を出していただき、意識合わせをしたうえで、労働組合の価値や認知度を高めていきたい。」と挨拶した。

連合組織拡大の取り組みとして、松永連合組織局長が「1,000万連合実現に向けて」と題し、これまでの組織拡大実績や戦略などの総括や、今後の体制・人材づくりについて講演した。



連合本部・松永組織局長

つづいて、佐々木組織対策局長が、2018年度組織拡大特別委員会としての報告事項及び協議・確認事項について提起し、議案の内容について委員から承認された。



佐々木組織対策局長

最後に、組織化事例報告として、2つの構成組織担当者から、組織化に向けた経緯や成果、課題など具体的な取り組み事例について報告があり、組織化までに至るまでの問題点や苦悩が垣間見ることができ、組織化運動の原点に立ち返る機会となった。